



- ◆近所に子ども食堂を！
- ◆老壮若が出会い、あそび・子育て・学習を支援。
- ◆皆様のご参加を！

すくすく通信 第8号
2020年2月5日発行
発行：一般社団法人すくすく広場
代表：坂本佳代子
事務局・発行所
〒347-0031 加須市南町7-67 戸恒方
Email tozune@outlook.jp

皆さんお元気ですか！

すくすく広場は、原発事故で8年前に福島から避難された皆さんを支援する「ぴえろのあそびひろば」を引き継いで、市内に対象を広げ、4年目に入り、子育て支援と「近所に小さな子ども食堂を！」の活動をますます元気に続けています。

楽しいすくすくのあそびひろば

毎月1回の「すくすくのあそびひろば」では、今年度も平均5～60名の親子が参加し、不動岡、三俣の両公民館、羽生の杜に加え、新しく北川辺のライスパ



ークでも開催することが出来ました。

(上；1月不動岡 下；12月ライスパーク)

小中高生勉強会も頑張っています

毎週木曜日には、市民プラザかぞの5階と404B室をお借りして、20名ほどが集まる勉強会を開いています。スタッフは9人。ぜいたくな程ですが人手はもっと欲しいのが現状です。

基本は宿題を中心に、軽食タイムをはさんでのんびりムードの楽しい雰囲気大切にしていますが、中に「しっかり頑張らなくっちゃ！」という子が出てくると、夏冬の休みに3日間ずつ徹底個別指導の期間を設けるなど、2段階構えでのお付き合いをしています。

こちらには、高校生・大学生のボランティアもおり、さらにはこの勉強会を卒業する高校生の中にも何かの役目をしたいと言う生徒もいて、楽しみです。

近所に小さな子ども食堂を！

①田口町会長さんや吉田夫妻を中心に南町に誕生して2年、「つくしの家」子ども食堂は、加須公民館の和室に場所を変え、月2回第2・第4金曜日の夕方、20人程の小中学生でにぎわっています。



②また、折々に私たちが会場をお借りする羽生の杜さんも、すくすく広場との連携で昨年3月から「みんなの子ども食堂」を立ち上げ、老若男女が楽しく食事し交流する場となっています。



③そして、2年前からすくすくが開催して来た三俣公民館に近い県営北小浜団地の集会室でも、団地に住む林実会員と「子どもたちを見守るてんとうむしの会」の皆さんとで「北小浜みんなで子ども食堂」が昨年9月にスタートしました。



④ところで、19年1月には加須の子ども食堂応援隊（代表内田圭一さん）が本町に県内で2番目となるフードパントリーを開設しました。フードロスの問題に取り組み、格差社会で苦しむ家庭を支援するねらいでセカンドハーベスト・ジャパンと提携して、2カ月に1回、希望なざるひとり親家庭を対象に開催しますが、

この方式が埼玉県の子供政策課からも加須モデルとして推奨され、今や県内に続々と増えつつあります。

「2ヵ月に1回のお楽しみの日であっていいと思っています」と応援隊の関根さんは言いますが、30家族でスタートしたのが、20年1月には97家族に増えるという大盛況。しかも、この事業にはボランティアの方たちも自発的に関わりやすく、夕食提供、宿題支援、懇談の場づくり、衣類の交換…等々がどんどん工夫されています。(家族の写真は禁止です。中央は鈴木・内田・関根の3氏)



昨年12月には愛泉寮さんでも**パントリー兼子ども食堂**を開設されましたので、その当初から応援隊とすくすくのメンバーがパートナーとして関わっています。



広がるネットワーク お力をお貸しください

このほか、市内のお店で、隣町のお寺さんで、また、企業がモバイル・スペースを不登校の子の独自の学習に解放など、様々な試みが同時に模索されています。

また、子ども食堂やフードパントリーを応援したいとおっしゃる市民の輪がぐんぐん広がっており、野菜農家、畜産会社、米作りの農業会社などの企業だけでなく個人からのお申し出もたくさんあり、安全に確実に管理してご家庭にお届けしたり、子どもたちの食事に提供したりと、忙しい中にも丁寧さを忘れないよう、嬉しい悲鳴を上げています。

その意味で、「**応援隊**」の**フードパントリー**が、**私たちのすくすく広場とタッグ**を組んでいてくれることは、本当に有り難いことで、加須・羽生周辺の子供食堂がR122エリアとしてまとめ、お互いに支え合うこと、食品を運びこみ、冷蔵・冷凍の機能も含めた拠点を市内に作っていくことも相談しています。

安全と衛生

このような子ども食堂の運営を続けていくうえで、大切なのが、安全を護ることと、食べることにつきものの衛生管理です。



すくすくでは管理栄養士さんをリーダーに、プランを練り、写真のような食器の煮沸消毒をはじめ、保健所の指導を受けて取り組んでいます。万一の時のために**子ども食堂保険**に加入しています。またスタッフについてはボランティア保険にも加入して往復時の事故に対応することにしています。

また、子どもののびのびとした遊びを護るためにも、毎回ベテランと若手が一緒になって「**振り返り会**」を持ち、場面ごとに注意点を共有しながら、経験を積み重ねています。

ボランティアで参加される方にもこうして一緒に活動していただきながら、仲間を作り、必要な経験を積み、いつかご自分で子ども食堂を開かれるときの準備もしていただけるものと思っています。

これまではおかげさまで**無事故**でやって来ましたが、今後も気を緩めることなく、皆で頑張っていこうと思います。

会員とボランティアを募集しています

子ども食堂では、地域の子どもの誰もが、生き生きと夢を持って、自分を信じて育っていけるように、いまこそ大人たちが手を携えて、自分のできることにつながっていこうとしています。

そして同時に、参加する自分自身が、仲間と語りつつ、子どもたちから元気をもらって、生き生きと張りのある生活をできることにも、他にない特徴があると思います。

すくすく広場では、子ども食堂に関心をお持ちの皆さんと、近所に、**小さな子ども食堂を、あちこちに**作っていけるように願っています。

すくすく広場事務局；090-2411-8598 とづね

ホームページ；k-sukusuku-hiroba.org

「すくすくひろば かぞ」でも検索いただけます。